

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

II. 8

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

Invidious 妒忌 猜忌.

誰か地を嗣ぐ者ぞ
宗教は必ずしも
最も合理的な政教の如く普遍
と言ふものは真理を美とて研
究慰藉にあり。正當知・吾他
宗教は必ずしも其主張する凡
事を肯定した後に起る由
のものある。それからいへば
おいて宗教はその持つべき
この區域に在るのみ、それでは
なりと強んに主張する張る
ものがある。
その宗教的特徴に入るの
範圍とするのは無日通に非ざる

西教が教會堂の外部に
 日陰の手を伸ばさるゝ限り
 東の狂暴を裁者と電中
 西教の自由を許さるゝ

短くは言へば宗教は世に
に全副心をあつては其多く
存在を許すといふ事がある
即ち神が俗界の帝王
達が彼等の領域の支配地
勢力範囲

を犯かまふといふ条件の
許に抑當 捕虜収容所や
銃械場から行その執行猶予
を許可されざるわけである。
不幸にも宗教を驅逐しやう
とするべの種の方法は、じょうり
の出現以前から行はれそなた
の事ある。戦年代も預いた。
古典的経済論理の正統主義
をあらうたの事ある。
普通 宗教は宗教、あ
るいは國教といふ系 標識を
あらうたをあらうた。
最も執心 教団の 増進の事

くが教會は政治と商業に
干渉を許さず政治と商業に
を大振りしあり皆持つてゐた、
教會は單なる宗教の指導者に
を念ず可きと世俗の日常
事に心を配るべきに依つて
聖書を信ず可かりと宣
言せられたるより宗教が
世間の長物となり公益を
餘計な由の如きありは充分
な據を世に与へるといふこと
ある、
人間が關係を持つてゐ
る世間の活動の中心を占むる

debacle 崩壊

Vapid

きつた時、一休宗教は何
から出て何ぞ教へるのか、
断がつかない、
その宗教思想は、
た、
すなわち、
さるやうに執心であつた、
先自と受け入れ、
キリスト教は理想主義の
即ち一種の宗教は理想主義の
の組織に下された。

イエスはギリヤの哲人と
夜の神秘主義の混血と
しを生まれて、

幻想家は、
何時の日にか実現する、
その所のよりある世界の

Dire plight 惨状 惨憺 debacle 崩壊

漠然たる 輪郭を 却ての
雲の中に 捕らた。 即ち 同時
に、世人は 自由に、それの 存
の 財宝を 過る 執中する
やうに ありたが、それは 却て
家系の 考へた ありて 世界への
道とは 餘程 異なつた (余) を
とつた り ありた。
其の 計画の結果は 現在
吾々の 前に 現はれ ざる。
吾々の 新教と 改訂、主義、経
済は 同様に 惨状、惨憺を
迎へて 居る。 即ち 二重の

Superannuated 259 Irrelevant 400 100

山崩の源を辿ると矢張り
同じ理由である、即ち宗教は
社会の俗りが超越する
るべきものだとの主張
ある、
吾は能力と強制と腕力
と精神の世界に在るべき
吾々は動的世界に在るべき
に人間は活動し、そこには
件が起る、若し宗教が
世界の執多と執力の中
一執力にあり、
偉力中の偉力に在るべき

Superannuated 老朽の Irrelevant 無関係の

亦うば、又もし宗教が人を
 動かす所の或る源動力を
 供給し得たことしたら
 若し宗教それ自身も亦世
 界にうばを起し得たとい
 うあるうば、それは簡単に
 通用の長物である。
 若しとて~~これ~~近頃の事
 うばを~~あつた~~やう
 古物だ考へて弱く
 のものに委ねておけばあ